

# 中井だより

中井やまゆり園

## 新型コロナウイルスが流行して変わったこと

医務課 看護係長 佐山 佳与子

4月より医務課係長を拝命いたしました、佐山と申します。中井やまゆり園は3年目になります。よろしくお願いいたします。

4月7日に緊急事態宣言が出され、神奈川県は5月25日に解除されました。この頃から「ステイホーム」「クラスター発生」「三密」という言葉が聞かれるようになり、外出時はマスクを着ける、手洗いや手を消毒するアルコールを使用する、換気、ソーシャルディスタンスを取る、店舗の入り口に手指消毒剤が設置され、消毒することが習慣になるなど私たちの生活様式は一変しました。他にも人が集まるイベントは中止になり、オリンピック・パラリンピックも延期になってしまいました。

このような状況の中、当園でも利用者の皆様の面会や外出外泊を制限させて頂いております。ご家族、後見人の皆様のご協力のお陰で、当園では新型コロナウイルス感染症が発生せずに過ごすことができます。

今冬はインフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念されています。流行を抑えるためにもインフルエンザの予防接種を受けることが推奨されています。当園ではインフルエンザワクチンを確保し、11月中に接種できるように計画し実行しています。

新型コロナウイルスの園内での発生を防ぐためには、外からウイルスを持ち込まないことが大切だと考えています。職員は毎日の検温と体調管理をしています。その他にマスクの着用、手洗いの励行、手指消毒剤の使用、不要不急の外出を控える、行動記録を残す等の取り組みをしています。

利用者の皆様にも毎日1回検温していただき、体調の変化に早く気付けるようにしています。環境面では、換気や手すりやドアノブの消毒を1日2回実施しています。そして、感染症発生時の対応マニュアルも作成し、ガウンやフェイスシールド等も備蓄しています。

当園の全職員と協力して、新型コロナウイルスの流行を乗り越えたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。